

## 神戸市

### 1. レジ袋削減への取組状況

- ・ レジ袋の削減は、ごみの発生抑制（リデュース）の中でも代表的な取組みであり、また、「買い物」という日常行動のなかで市民誰もが主体的に環境問題に関われることや、環境にやさしいライフスタイルに転換してもらうきっかけとなることから、循環型社会の構築や地球温暖化防止にも大きな意義があると考えている。
- ・ また、平成 20 年 5 月開催の「G 8 環境大臣会合」で合意された「神戸 3 R 行動計画」においても各国が協調して取り組むべき行動として位置づけられている。
- ・ 現在、モデル的に西区・北区の食品スーパー事業者との「レジ袋の無料配布の中止」に関する、市民（地球環境市民会議）・事業者・市の三者協定を締結（10 事業者 100 店舗）しており、食品スーパー以外の業種についても拡大し、全市実施を目指しているところである。
- ・ 元々、コープこうべでは、独自にレジ袋削減に取り組まれており、平成 18 年に二者協定を締結していたが、その後、神戸市から他の食品スーパー事業者にも声かけをし、平成 23 年から上記の三者協定を随時締結している。現在店舗数としては西区・北区の 75% の食品スーパーと協定締結できている状況である。

#### レジ袋無料配布の中止（有料化）の協定締結状況

| 事業者名               | 締結年月日     | 対象<br>店舗 | レジ袋辞退率<br>(H24.9) |     | 実施時期     |
|--------------------|-----------|----------|-------------------|-----|----------|
|                    |           |          | 目標値               | 実績  |          |
| 生活協同組合コープこうべ       | H23.12.22 | 61       | 90%               | 91% | 全市実施済    |
| 兵庫六甲農業協同組合         | H23.12.22 | 9        | 80%               | 88% | H24.1～   |
| 株式会社マルアイ           | H23.12.22 | 9        | 85%               | 86% | H24.4～   |
| イオンリテール㈱           | H24.6.5   | 3        | 80%               | 84% | H24.9.1～ |
| (有)ウェルネスすずらん       | H24.6.5   | 1        | 80%               | 80% | H24.9.1～ |
| ㈱川瀬食品              | H24.6.5   | 1        | 90%               | 80% | H24.9.1～ |
| ㈱神鉄エンタープライズ        | H24.6.5   | 5        | 80%               | 87% | H24.9.1～ |
| ㈱トーホー              | H24.6.5   | 6        | 80%               | 82% | H24.9.1～ |
| マックスバリュ西日本㈱        | H24.6.5   | 4        | 80%               | 72% | H24.9.1～ |
| ㈱トーホーキャッシュアットキャリアー | H24.8.6   | 1        | 80%               | 91% | H24.9.1～ |
| 合計                 |           | 100      |                   |     |          |

- ・ また、食品スーパー以外では、以下の3店舗がレジ袋の有料化を行っている。それらの店舗については、「ワケトンエコショップ（廃棄物の発生抑制・減量化・再資源化に取り組む小売店を認定する制度）」に認定し、市は、認定店舗への認定証・認定ステッカーの交付や、市ホームページへの掲載を実施している。

#### 食品スーパー以外の事業者との取り組み(ワケトンエコショップの認定)

| 事業者名           | 店舗 | 取組内容        |
|----------------|----|-------------|
| デイリーヤマザキ神戸市役所店 | 1  | レジ袋の無料配布の中止 |
| 神戸大学生協同組合      | 1  | レジ袋の無料配布の中止 |
| イケアジャパン        | 1  | レジ袋の無料配布の中止 |
| 合計             | 3  |             |

- ・ 今後は、食品スーパー以外の業種の拡大と、西区・北区以外のエリアの拡大を進めていきたいと考えている（西区・北区の人口は約50万人で、市全体の約1/3）。
- ・ 業種については、まずスーパードラッグを対象に進めている。西区・北区に30店舗あるスーパードラッグの中で、9店舗を有するアルカスーパードラッグ（ナガタ薬品㈱）と、平成25年4月に協定を締結する予定で、今後、他のスーパードラッグにも参画してもらえるよう、何度か会議の場を設けている。
- ・ また、クリーニング店舗についても、打診を行っているところである。

## 2. レジ袋削減対策の評価

- ・ レジ袋辞退率の実績が、協定での目標値を上回る80%以上になっている店舗がほとんどで、順調に推移していると考えている。
- ・ コープこうべと二者協定を締結した平成18年頃から比べると、特に東日本大震災以降、消費者の意識は変わっていると感じる。現在は、エネルギー問題や温暖化問題への理解が進んでおり、レジ袋有料化への反対の声はほとんど聞こえてこない。
- ・ 全市で市民アンケート調査を行ったが、レジ袋の無料配布中止について、前年度より賛成の意見が高まっており、「どちらかといえば賛成」を含めると80%にのぼる。西区・北区に限定すると、さらに高い数値であると予想される。

＜市民へのアンケート調査（平成24年9月実施）

○対象：市政アドバイザー：対象者1,167人 回収数：445通（回収率：約38%）

◎主な結果 「レジ袋の無料配布中止」について、どう思いますか

|             |          |                     |
|-------------|----------|---------------------|
| ①賛成         | 42% (32) |                     |
| ②どちらかといえば賛成 | 38% (40) |                     |
| ③どちらかといえば反対 | 13% (18) |                     |
| ④反対         | 6% (8)   | ※( )の数字は前回調査(H23.8) |

- ・ 平成 20 年よりごみ袋を指定袋にしたので、レジ袋をごみ袋として利用できなくなったことも、市民の意見に反映されているのかもしれない。
- ・ 神戸市としては、消費者の PR 活動で貢献し、参加事業者にメリットを感じてもらうようにしている。平成 24 年度については、北区・西区の自治会や協定参加事業者へ啓発ポスター・うちわ・ちらし・のぼり等の配布、協定締結店舗でのキャンペーン、広報紙 K O B E（北区・西区版）への掲載、神戸市営地下鉄・神戸電鉄等駅構内への啓発ポスター掲示・ちらし設置、小・中・高校生による「マイバッグ作品展（平成 24 年 10 月にそごう神戸店で作品展示・表彰）」を行った。

### 3. レジ袋削減対策の課題

- ・ 事業者との調整作業が課題となっている。
- ・ 条例で制限する方法（目標を達成しなければ罰金や事業者公表などペナルティを課す）には効果に疑問を持っており、神戸市では紳士協定という方法を取っている。
- ・ 無理やり協定を締結するのではなく、地道に会議の場を設定し、理解を求めるようにしている。着実に浸透し、安定性は高いが、どうしても調整に手間がかかる。
- ・ 事業者においてメリットを感じていても、商業上のデメリットを優先し、協定締結にまで至らない店舗が発生してしまう。特に中小スーパーでは難しく、全店舗に導入することには限界がある。
- ・ また、あくまで紳士協定であるため、協定締結している店舗についても、競合店の状況によっては今後協定から抜けてしまう可能性がある。

### 4. 国への意見・要望

- ・ 本当にレジ袋の有料化を進めるのであれば、容器包装リサイクル法におけるレジ袋の位置づけをどうするのか考えて欲しい（例えば、レジ袋については法律で有料化を義務づけることや、容器包装リサイクル法に基づく通常の負担金以外に、更に賦課金をつけるなど）。
- ・ どこまで徹底するかによるが、市による協定だけでは参加率に限界があり、全国一律的な方針があると、徹底が進みやすくなる。特に、関西は進んでいない自治体も多く、徹底が進みにくい側面がある。